

2018. 5. 30 (30-2)

5月号

水辺のふるさと かつしか

自然環境レポーター通信



題名 : クロアゲハ

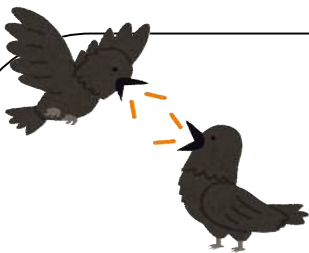
撮影場所 : 東立石

写真提供 : 高橋 雅子さん

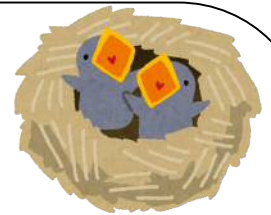
水辺のふるさとかつしか5月号

目次

- | | | | |
|---|--------------------|-----------------|---------|
| 1 | 区内で見られる55種の動植物 | | P 1~3 |
| 2 | 自由レポート | (調査区1) 弥生さくら草さん | P 4 |
| | | (調査区3) RYUさん | P 5 |
| | | Rさん | P 6 |
| | | 藤並 剛さん | P 7~8 |
| | | (調査区5) 佐々木 定治さん | P 9~10 |
| | | K・Nさん | P 11 |
| | | 鳥好き植木職人さん | P 12 |
| 3 | 魚からの便り—249— | | P 13~14 |
| 4 | 今月の1枚 | | P 15~16 |
| 5 | 資源・エネルギーチェック票の報告結果 | | P 17 |
| 6 | 環境課からのお知らせ | | P 18 |



—編集担当より—



自宅近くの電柱にカラスの巣を見つけた。葛飾区では、自分が担当しているので見かけたり情報を得たりすることが多いが、地元で見かけるのはこれが初めてだ。あまり上を見ないことも原因なのかもしれないが……。市役所に連絡しようかとも思ったが、カラスが騒ぐそぶりや威嚇も無く、あまり人通りもないのでそっとしている。

カラスと言えば最近、錦糸町駅に人馴れしたカラスが現れた。人をまったく恐れず、エサをねだるように頭に乗ってきたりもしたという。本来、野生のカラスがここまで人に近づくことはないために、専門家からは餌付けが行われていたのではないかとされている。カラスにとどまらないが、一旦人間から餌をもらえると覚えてしまった野鳥は、自力でエサを捕ることをやめ、人任せの生きものになってしまう。こうなってしまうともう自然では生活できず、やがて餓死してしまう。やはり野鳥への接触は避け、自然の中でのびのびと生きている姿眺めるのが一番である。



4月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など
野	1	コアジサシ																														上旬・中旬・下旬/
	2	ツバメ									5	2	1				1									2	1	5				上旬・中旬・下旬/
	3	オオヨシキリ																														上旬・中旬・下旬/
	4	コガモ				2																						7				上旬・中旬・下旬/
	5	ツグミ									5																2	多				上旬・中旬・下旬/
	6	ウグイス																										3				上旬・中旬・下旬/
	7	コサギ										1																3				上旬・中旬・下旬/
	8	カワセミ																										1				上旬・中旬・下旬/
	9	コゲラ																										3				上旬・中旬・下旬/
	10	シジュウカラ						1			7														1		5	多				上旬・中旬・下旬/
昆	11	ギンヤンマ																														上旬・中旬・下旬/
	12	アキアカネ																														上旬・中旬・下旬/
	13	オオカマキリ										1																				上旬・中旬・下旬/
	14	エンマコオロギ																														上旬・中旬・下旬/
	15	カンタン																														上旬・中旬・下旬/
	16	トノサマバッタ																														上旬・中旬・下旬/
	17	クマゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	18	アブラゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	19	ツクツクボウシ																														上旬・中旬・下旬/
	20	ミンミンゼミ																														上旬・中旬・下旬/
虫	21	ニイニイゼミ																														上旬・中旬・下旬/
	22	ヤマトタムシ																														上旬・中旬・下旬/
	23	ナガサキアゲハ																														上旬・中旬・下旬/
	24	クロアゲハ												1																		上旬・中旬・下旬/
	25	ナミアゲハ					1				1		2	2													2					上旬・中旬・下旬/
	26	テングチョウ																														上旬・中旬・下旬/
	27	ツマグロヒョウモン									1																					上旬・中旬・下旬/
	28	アカボシゴマダラ																														上旬・中旬・下旬/

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日～10日 中旬 11日～20日 下旬 21日～30(31)日

4月 生物指標・ 観察集計表		奥戸	新小岩	東新小岩	西新小岩	青戸	立石	東立石	東四つ木	四つ木	白鳥	亀有	西亀有	小菅	堀切	東堀切	お花茶屋	宝町	高砂	鎌倉	細田	柴又	新宿	金町	金町浄水	東金町	水元	水元公園	東水元	南水元	西水元	時期・特徴など		
植	29	アカメガシワ					2				多															1						上旬・中旬・下旬/		
	30	スギナ				多	多	多			多	多	多				多									多						上旬・中旬・下旬/		
	31	ナガミヒナゲシ				多	多				多	多	多	多			多								多	多						上旬・中旬・下旬/		
	32	シロツメクサ				多	多				多	多	多	多												多						上旬・中旬・下旬/		
	33	スズメノエンドウ				多	多	多			多	2	多														多						上旬・中旬・下旬/	
	34	イモカタバミ						多			多	多														多						上旬・中旬・下旬/		
	35	アレチウリ						多																									上旬・中旬・下旬/	
	36	セリ																								多							上旬・中旬・下旬/	
	37	オオバコ				多																				多							上旬・中旬・下旬/	
	38	オオキンケイギク																															上旬・中旬・下旬/	
	39	カントウヨメナ																								多							上旬・中旬・下旬/	
	物	40	カントウタンポポ				2	多			多							5							1									上旬・中旬・下旬/
		41	ソユクサ								1																							上旬・中旬・下旬/
42		ジュズダマ																															上旬・中旬・下旬/	
43		ススキ				多																											上旬・中旬・下旬/	
ほ乳	44	アライグマ																															上旬・中旬・下旬/	
	45	ハクビシン																															上旬・中旬・下旬/	
は虫	46	ミシシippアカミミガメ								4		3														5							上旬・中旬・下旬/	
	47	ニホンカナヘビ																								1							上旬・中旬・下旬/	
両生類	48	ニホンアマガエル																															上旬・中旬・下旬/	
	49	ニホンアカガエル																															上旬・中旬・下旬/	
	50	ウシガエル																							1								上旬・中旬・下旬/	
クモ	51	コガネグモ																															上旬・中旬・下旬/	
	52	ジョロウグモ																															上旬・中旬・下旬/	
魚類	53	メダカ																															上旬・中旬・下旬/	
	54	ブルーギル																															上旬・中旬・下旬/	
底生	55	ベンケイガニ																															上旬・中旬・下旬/	

数値…レポーターが確認した個体数の合計(数えきれない場合には“多”で表示) 上旬 1日~10日 中旬 11日~20日 下旬 21日~30(31)日

※ 4月の調査では、55種のうち28種が確認されました。

その他の自然観察について(本文掲載以外・敬称略)

日付	生物名	場所	調査者	個体数	事項
3/12	フラサバソウ、ゴイサギ、ヨモギ	中川沿い	高橋 雅子	多、1、多	○
3/12	ナズナ、カワラバト、ハナニラ	中川沿い	高橋 雅子	多、多、多	○
3/12	コブハクチョウ、カンムリカイツブリ	水元公園	高橋 雅子	1, 1	○
3/12	ホシハジロ、ハシビロガモ、オオバン	水元公園	高橋 雅子	多、2、多	○
3/12	ダイサギ、セグロセキレイ	水元公園	高橋 雅子	2, 2	○
3/16	ユリカモメ	中川沿い	高橋 雅子	多	○
3/26	スノーフレイク、ホトケノザ	水元公園	高橋 雅子	5、多	○
3/26	オオイヌフグリ、ノゲシ	水元公園	高橋 雅子	多、多	○
3/26	ヒドリガモ、カイツブリ	水元公園	高橋 雅子	多、5	○
4/1	モンシロチョウ、ヤマトシジミ	砂原第三公園(亀有4)	荒井 敏夫	1, 1	○
4/1	スズメ、ヒヨドリ、キジバト、ハコベ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、1、多	○
4/1	タネツケバナ、ハナニラ、ノゲシ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多、多	○
4/1	ヒメツルシバ、セイヨウタンポポ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
4/1	カラスノエンドウ、オランダミナグサ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
4/1	ヒメオドリコソウ、キュウリグサ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	多、多	○
4/1	オオバン、ユリカモメ、スギナ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	1, 2, 3	○
4/1	ヒメスイバ、スズメノカタビラ、カタバミ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	多、多、多	○
4/1	アリアケスミレ、ハルジオン	小菅	石鍋 壽一	5、多	○
4/2	ヤエザクラ、ハナミズキ	金町	田村 ひろ子	多、多	○
4/3	フジ、ヤマブキ	西亀有4	荒井 敏夫	1, 1	○
4/5	ミツマタ、クルメツツジ、シモクレン	亀有4	荒井 敏夫	1、多、4	○
4/7	ナナホシテントウ	お花茶屋	R	1	○
4/8	ヒヨドリ、ムクドリ、モンシロチョウ	青戸平和公園	森本 龍司	多、多、1	○
4/10	サトザクラ、ナナホシテントウ	亀有4	荒井 敏夫	1, 4	○
4/10	ドウダンツツジ	亀有4	荒井 敏夫	多	○
4/10	モッコウバラ、ポピー	金町	田村 ひろ子	多、多	○
4/10	チョウセンマンサク	柴又、金町	田村 ひろ子	多	○
4/12	カラスノエンドウ、カモメ	青戸3	森元 龍司	多、3	○
4/12	ムクドリ、クサガメ	白鳥	RYU	多、2	○
4/14	マツバフウラン、ツタバウンラン	小菅	石鍋 壽一	多、多	○
4/15	ムクドリ、ヒヨドリ	青戸平和公園	森元 龍司	3、多	○
4/15	オタマジャクシ、オナガ	金町	田村 ひろ子	多、1	○
4/17	キジバト、サクランボ	砂原第三公園(亀有4)	荒井 敏夫	1, 1	○
4/19	ヒメコバンソウ、ハハコグサ、イヌムギ	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	5, 5、多	○
4/20	ハクセキレイ、シジュウカラ	金町	田村 ひろ子	1, 1	○
4/21	ヘラオオバコ、アカツメグサ	荒川小菅緑地公園	石鍋 壽一	多、多	○
4/21	オオジシバリ、ユウゲシヨウ	荒川小菅緑地公園、水戸橋北	石鍋 壽一	多、多	○
4/22	カワウ、オニノゲシ、ムラサキツメクサ	中川橋周辺(亀有3)	藤並 剛	2, 5、多	○
4/23	モンシロチョウ、ヒヨドリ	青戸平和公園、立石6	森元 龍司	1, 2	○
4/25	クレマチス	西亀有4	荒井 敏夫	2	○
4/28	ナガメカメムシ	東金町5	鍵谷 哲也	2	○
4/28	キチョウ、ヒヨドリ	青戸3	森元 龍司	1, 2	○
4/28	カワラヒワ、アオジ	金町、柴又	田村 ひろ子	3, 1	○
4/28	オナガ、コイ、スズメ、クサガメ	白鳥	R	3, 6、多、1	○
4/29	アオスジアゲハ、カモジグサ、ノビル	東部地域病院周辺(亀有5)	藤並 剛	1, 5, 5	○
4/29	アオスジアゲハ	お花茶屋	RYU	1	○
4/30	エゴノキ、アイリス	亀有4	荒井 敏夫	2、多	○
4/30	モンシロチョウ、テントウムシ	金町	田村 ひろ子	1, 1	○
4/30	ハクセキレイ、ヨモギ、フキ	水元2	佐々木 定治	2、多、多	○

*こちらの表に関しましては、一部抜粋して掲載します。

春爛漫

弥生さくら草

厳しい冬の間ひたすら、春の訪れを待ちわびていた私たち、近年は昔ほどではないが寒さは厳しかった。立春が過ぎればもう陽射しは暖くなるはずなのに、春の花々はなかなか咲かなかった。それがどうしたことか今年は三月の節句が過ぎて彼岸を待つまでの間に春風に誘われた桜が^{いっせい}一斉に咲いた。三月末から四月初旬は日本中が桜を愛でる人で満ち溢れ、酔いしれたといっても過言ではないだろう。毎年それを愛で^めて桜花の美しさを感じ、散るのを惜しんできたけれど桜の美しさは見惚れて飽きることがない。今では評判が世界中にまで及んでそれらの国々から桜を観に大勢訪れるという。桜が終わると春はいつペんに進んで春の花々は順々咲くのが毎年の事。それが今年は一度に咲き揃った。北海道の春のように……。

朝起きるのを待ちかねて外へ出る。牡丹も小手毬、躑躅^{つづじ}、ばら、紫蘭^{しらん}、二輪草、山吹草、立波草^{たつなみそう}。彼らも春を待っていたのだ。だから大事にしてあげなければ……。枯れ葉や咲き終わった花を抜きとり、水遣りを忘れないで――。

昨年^{あかしそ}の種から赤紫蘇、青紫蘇^{あおしそ}も芽が出た。明日葉^{あしたば}も芽が出たから大きく育ったら食膳は賑わうだろうか。冬眠から覚めた亀も元気に泳ぎ回っている。

平成 30 年 5 月 7 日

氏名	RYU	調査区	3	4月
----	-----	-----	---	----

いつもより早い花たち



上旬、ソメイヨシノから八重桜にバトンタッチ。花見の期間はあっという間に過ぎ、中旬にはもうツツジや藤が満開。暖かい日が続き、下旬には、蝶も飛び交うようになりました。

我が家では、毎年環境課で配布されるゴーヤの種をまいているのですが、今年はまだ1つも発芽していません。さて、どうなってしまうのでしょうか。

氏名	R	調査区	3	4月
----	---	-----	---	----

曳舟川親水公園生き物調査 31



気温の変化に伴い、生き物たちの動きが活発になってきました。

これからも公園に来る人たちを楽しませてくれるといいなと思います。



恒例の、勝手に観察樹第2弾です。左が3月、右が4月です。

先月と比べると緑が増え、だいぶ変化がみられます。

氏名：藤並 剛 町名：亀有 調査区：3

4月1日(日)午前8時頃、天気は晴れ(風なし)、気温は15度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ヒヨドリ、キジバト(1)、シジュウカラ(2)を見つけた。植物は、ハコベ、タネツケバナ、ハナニラ、ノゲシ、ヒメツルソバ、セイヨウタンポポ、カラスノエンドウ、オランダミミナグサ、ヒメオドリコソウ、スギナ(ツクシ)、ナガミヒナゲシ(開花、5)、カタバミ(開花、5)、キュウリグサ、スズメノエンドウ、ナズナ、ハルジオン、ホトケノザ、イモカタバミ、ニワゼキショウ、オッタチカタバミを見つけた。ケヤキ、カツラ、イロハモミジなど新緑が美しい。ソメイヨシノは散り始めた。メタセコイヤの若葉も出てきた。

同日、午後3時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバト(1)、オオバン(1)、ユリカモメ(2)、カルガモ(3)、コサギ(1)を見つけた。昆虫は、モンシロチョウを見つけた。植物は、オッタチカタバミ、ハナニラ、キュウリグサ、オランダミミナグサ、ナズナ、セイヨウタンポポ、スギナ(ツクシ)、カラスノエンドウ、ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、スズメノエンドウ、カントウタンポポ、ヒメスイバ(開花、5)、スズメノカタビラ(開花)、ハルジオン、カタバミを見つけた。桜は散り、ケヤキの新緑が美しい。

4月4日(水)午前10時頃、天気は晴れ(風あり)、気温は20度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。野鳥は、ツグミ(4)、オナガ(2)、ヒヨドリ、シジュウカラ(2)、キジバト(1)、スズメ、ツバメ(今季初、2)を見つけた。昆虫は、モンシロチョウ(1)、ヤマトシジミ(3)を見つけた。植物は、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、イモカタバミ、ノゲシ、タネツケバナ、オランダミミナグサ、ナガミヒナゲシ、カタバミ、ハナニラ、ナズナ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ハルジオン、キュウリグサ、の花が咲いていた。サクラは、ソメイヨシノは全て散り、ヤマザクラとシダレザクラとなった。ハナミズキの花が咲き始めた。

4月19日(木)午前10時頃、天気は晴れ(風なし)、気温18度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、シジュウカラ(1)、ムクドリを見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ(1)を見つけた。植物は、ヒメスイバ、キュウリグサ、カラスノエンドウ、ハルジオン、スズメノエンドウ、オランダミミナグサ、セイヨウタンポポ、ナガミヒナゲシ、ノゲシ、イモカタバミ、ナズナ、カタバミ、ハコベ、スズメノカタビラ、ヒメコバンソウ(開花、5)、ハ

ハコグサ（開花、5）イヌムギ（開花）を見つけた。

4月22日（日）午前7時頃、天気は晴れ（風なし）、気温は18度くらい。亀有3丁目の中川橋周辺。今日、東京の最高気温は、28度を越えた。野鳥は、シジュウカラ（2）、スズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、カワウ（2）、キジバト（1）、ツバメ（2）を見つけた。植物は、オニノゲシ（開花、5）、ナガミヒナゲシ、ハルジオン、ノゲシ、カタバミ、セイヨウタンポポ、ナズナ、シロツメクサ、ヒメスイバ、カラスノエンドウ、ムラサキツメクサ、スズメノカタビラ、イヌムギを見つけた。サツキとハナミズキの花が咲き、ケヤキとクスノキの新緑が美しい。

4月29日（日、祝）午前9時頃、天気は晴れ（風少し有）、気温は22度くらい。亀有5丁目の東部地域病院周辺。野鳥は、スズメ、ムクドリ、オナガ（3）を見つけた。昆虫は、ヤマトシジミ（3）、アオスジアゲハ（今季初、1）を見つけた。植物は、セイヨウタンポポ、ムラサキツメクサ、カタバミ、ハルジオン、ヒメオドリコソウ、イヌムギ、アメリカフウロ、カモジグサ（開花、5）、ノビル（開花、5）、ニワゼキショウ、オニノゲシ、スズメノカタビラ、ナガミヒナゲシ（最終）、キュウリグサ、ハハコグサ、ノゲシ、イモカタバミを見つけた。カラスノエンドウとスズメノエンドウの黒い実も見つけた。

先週末から今週にかけて連日、東京の最高気温が25度を超えるようになった。初夏を越えて真夏の陽気となっている。植物も、春の野草も終わりを告げ、夏の野草が伸び、今にも開花しそうである。昆虫の出現も、それに伴っていくことだろう。子どもたちと初夏を楽しむ5月としたい。（4月29日）

自然観察レポート30年4月の巻 佐々木定治 調査区5

我が家の平成30年春の歩み



種がこぼれ落ちて生育したパンジー



10年もののクレマチス



2年目のセージ



各種パンジー



20年以上のジャスミン



ノースポール・アリッサム等

今回は我が家の庭の観察を記録しました。自然観察レポートは、毎回水元地区を回りその報告をしているのですが、灯台もと暗しで、自宅の観察を入念にし、その記録をとることも大切だと考えました。植栽された草花はある意味で管理されたものですが、この管理こそ自然と人とのかわり、共生可能にする営みだと思います。

平成30年の春も我が家の燕と



思い出のあるカタバミ



誕生日に植えた30年以上からのミニバラ



我が家のツバメの巣①



我が家のツバメの巣②



優しいナデシコ

どの草花にも、それぞれの思い出や思い込みがあり、私との歴史や家族の歴史を刻んできた大切な存在です。大自然を取り込む地球の営みの中で、ほんの少しの土を自分の住むエリアに設定し、年ごとの観察をしていくことも必要です。

※私が自然とのかかわりで自分勝手に考えてきたことは、その自然は自分にとってどう思えるか。その時の自分はどう生きていたのか。どう声かけをしてきたのか。等、まさにその自然と自分とのコミュニケーションを持つことで、その意味での我が家の自然縮小版としての庭の草花や、20年も我が家を営巣の場と決めて遠い国から万難を排して住みかとしてくれるツバメとのコミュニケーションを来る日も来る日も楽しみながらしているのです。

視点を変えて言えば定点観察をしているということになります。

「歩み」の字の分解をすれば、「少し止まって、みること。」平成30年の春は、少し立ち止まって季節を見ようと思いがら……。 (来年は年号が変わる春です。)

氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
自分で指定（観察地内の植物と昆虫・指定種中心）鳥類は大橋周囲～小合溜を観察					
30年	西洋タンポポ 748・しろつめ・つゆ草など 0・小合溜周囲の野鳥 コサギ 0				
4/9	アオサギ 0・ユリカモメ・20以上カモ類 水中 150以上				
4/26	西洋タンポポ 50・他の花 0・小合溜周囲の野鳥・コサギ 0・アオサギ 1 ・ユリカモメ 20以上・カモ類 160				

1. 西洋タンポポから手紙が届いた。

「おばあちゃん、突然激震がきたよ、根元をちぎられ痛かった。雑草と一緒に抜かれてどこかに連行された仲間もいる。桜のおじいちゃんの根が切られてうめいていたよ」というものだった。

観察地には写真のように土が掘られ、何かが多数挿入されていた。桜土手の一部は、強いはずの西洋タンポポが激しく減少していること。



写真の
（東）東金町



桜は心あきらめ

穴は沢山あいてます

2. つばめ情報

4月上旬、私用があつて奈良市の三条通りに向かう路地でつばめに会った。居酒屋や商店がならぶ賑やかな場所だが、2箇所にも巣をみつけた。金町はどうかと、去年の場所を4月26日観察した。マンションの入口は、1羽が巣ごもりしていた。情報では、「中旬にはきていたよ」ということだった。

2箇所目の八百屋近くの巣には1羽を確認。私の視線で飛んでしまったので、2日後見にゆくと、巣ごもりが確認できた。

もう一箇所は例年遅いので未確認。巣はあるが、入り口に網を張った場所も未確認。増加は期待できなそうもない。

氏名	鳥好き植木職人	町名	西水元	調査区	5
主な観察場所	中川左岸西水元水辺の公園～常磐線陸橋。区内の庭				
得意分野	野鳥及び植物	レポート no43			

人が自然を変えてしまう

(1)水元公園の鳥たちは人が近づいても逃げない

中川にいる鷺は人が近づくと直ぐに逃げる。アオサギが汀に佇んでいるとき私が写真を撮ろうとそーっと近づくと必ず遠くの距離で飛び立ってしまう。

ところが水元公園ではまったく違う。傍に近づいても飛び立たない。釣り人が釣った魚をあげるから、逆にくれそうな人には近づいてくるとか。



(2)松島湾のユリカモメは少なくなった

平成 26 年 4 月に禁止されたが、それ以前は遊覧船の客があげるエサ目当てに船と並走してユリカモメが沢山舞っていた。最近同じ遊覧船に乗ったが、カモメの姿が全く見えなかった。

もう一つ驚いたこと。水族館の鯉の水槽で。30～40 センチの大きな鯉が水槽の水面に群れている。子供たちがエサをあげている。100 円のエサが傍の自販機で購入できる。そのエサ欲しさに鯉は重なり合い今にも水槽から飛だしそう。迫力満点で怖いぐらい。こんな姿を子どもたちに見せて、どんな教育的意義があるのか。

人は自然が好きだ。しかし、自然に対して自分勝手だ

人の力を使う場合、自然の立場も考えなければ、結果、自然をつぶしてしまう。この選択が難しい。

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-249

調査次数	調査日	調査地点	251			備考
			2018/4/28			
			本流	新八水路	新八ワンド	
1	ア シ シ ロ ハ ゼ	35 38-69				
2	ア ュ	5 48-71				
3	ウ グ イ	2 115-130				
4	ギ ン ブ ナ		1 63			
5	ス ズ キ	6 40-54				
6	ス ミ ウ キ ゴ リ	59 25-42				
7	タイリクバラタナゴ		2 30-34			
8	ド ジ ヨ ウ		1 83			
9	ヌ マ チ チ ブ	136 23-100				
10	バ ス SP	78 3-12				
11	ボ ラ	15 35-379				
12	マ ル タ	34 9-127				
13	メ ダ カ		1 24			
14	モ ツ ゴ	1 47				
計			10種類371個体	4種類5個体	0種類0個体	

- 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
（新八ワンドは、本流の水位低下に伴い、全体に水深がなく、採集ができませんでし
- 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて14種類376個体の魚類が採集されました。
- 晴れ 気温23.7℃、水温 本流18.1℃、新八水路21.7℃、新八ワンド（測定不能）（15時頃測定）
- 【参加者コメント】
- アシシロハゼが 35個体採れた。午前中はかなり減水したが、投網ではかなり流速が速い場所からも出現した。本種はマハゼにやや似ているが、上から見て両眼間隔が狭い（＝寄り目）ので体の外に目が飛び出していない、腹鰭が円いマハゼに比べてアシシロは後方に伸びた楕円形である、ことなどで識別できる。成熟した雄の体側には黒い明確な斑点が現われ、腹鰭には黒い縦筋が出る。雌には鞍掛状の横斑がある。マハゼの同じサイズが採れる季節が楽しみだ。（YK）
- 水位が下がって10cm程度になった、礫の転がるあたりに、バス類の稚魚がたくさんいました。朝のうちは親もいたと思われるので、浅いところも網を打ってみてください。（KI）
- 新八水路にいつも沢山いるカダヤシやメダカがほとんど確認できなかったのが気になった。（E大AO）
- 新八水路の水の色がいつもより黒く見えた。そのこととカダヤシ、メダカなどがほとんど確認出来なかったことに因果関係がないのだろうか？（SI）

【今後の調査日】 5月12日（土）6月9日（土）7月14日（土）8月11日（土：祝）

HP（ <http://shigenori1.jimdo.com/> ）

【編集：一澤成典】

今月の1枚



「クロアゲハ」

30/5 東立石

撮影 高橋 雅子さん



「ツバメの巣」

30/4/29

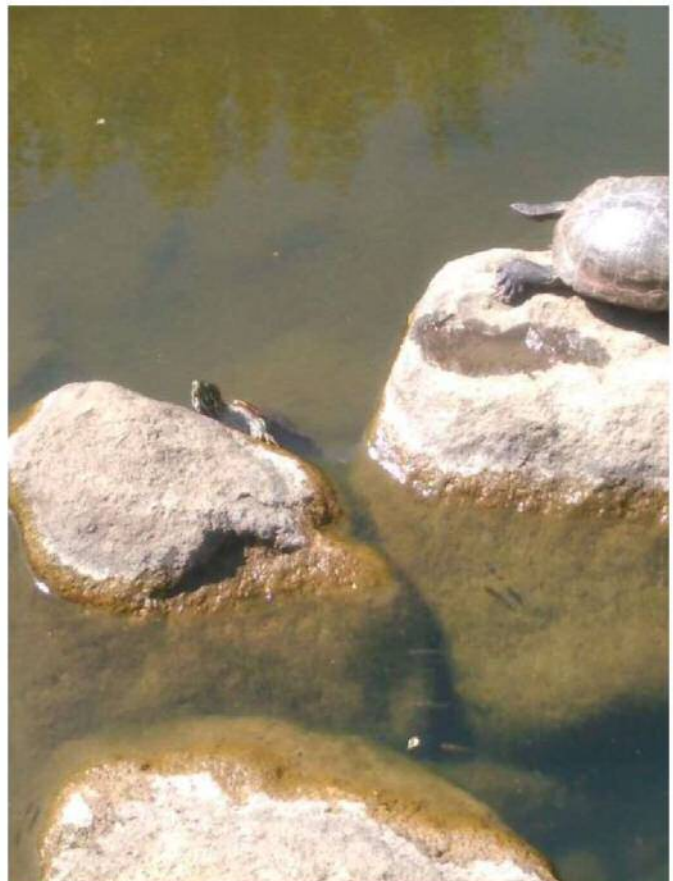
撮影 佐々木 定治さん



「健気さ」

30/4/10 堀切

撮影 RYU さん



「もう一息」

30/4/28 曳舟川親水公園

撮影 R さん

4月 資源・エネルギーチェック票の報告結果

家族構成		電気	ガス(都市ガス)	水道	二酸化炭素
大人	子供	Kwh×0.42	m ³ ×2.21	m ³ ×0.2	排出量
3	0	70.14	75.14	3.00	148.28
4	0	105.42	150.28	12.60	268.30
2	0	41.16	15.47		56.63
4	1	115.08	90.61		205.69
2	0	32.34	11.05		43.39
2	0	67.62	22.10	2.40	92.12
1	0	58.80	46.41	4.40	109.61
2	0	52.50	86.19		138.69
2	0	92.82	121.55		214.37
3	0	99.12	48.18		147.30
1	0	101.22	79.56	5.40	186.18
4	1	149.10	187.85		336.95
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
					0.00
30	2	985.32	934.39	27.80	1947.51
平均(1家族)		109.48	103.82	3.09	216.39
一人あたりの平均		44.79	42.47	1.26	88.52

< 4月の二酸化炭素の排出量 >

* 一人あたりの平均は 88.52 kgです。
お出かけは、できるだけ公共の交通機関を利用しましょう。

環境課からのお知らせ

自然環境係 電話5654-8237(直通)

☆環境・緑化フェア2018が開催されます☆

- 日付 6月10日(日)
時間 午前10時から午後4時まで
場所 テクノプラザかつしか
アクセス 電車でお越しの方 →「青砥」駅 徒歩12分
バスでお越しの方 →亀有駅～新小岩駅「テクノプラザかつしか」下車



自然環境レポーターブースでは以前に有志に作成していただいたパネル展示とレポーターブースにパソコンを設営し、写真やレポートをスライドショーにして展示する俄博士発表会を行います。

他にも「苗木の配布」や自然素材でつくる工作教室など楽しいイベントが盛りだくさん！ぜひご家族やお友達を誘ってお越しください。

☆21世紀の森と広場で自然観察会を行います☆

今回は松戸市の21世紀の森と広場で自然観察会を行います。講師案内のもと、普段とは異なる景色の下、動植物の生態と環境保全の大切さを考えていきましょう。

- 日時 7月14日(土) 9時50分から12時30分まで
場所 21世紀の森と広場(松戸市千駄堀269)
講師 橋本 浩基先生(自然観察指導員)
費用 保険料50円
アクセス 金町駅～新八柱駅 JR武蔵野線
@220円(IC@216)×2=440円(IC@432)
*出欠につきましては、後日案内を送付させていただきます。



☆江戸川新八水路で魚類調査を行います☆

- 日時 6月9日(土)、7月14日(土) 10時～15時
場所 江戸川・新八水路(柴又公園駐車場横)
持ち物 首に巻くタオル、長めの靴下



「水辺のふるさと・かつしか」第 302号
(葛飾区 自然環境レポーター通信第254号)

平成30年5月30日 発行

葛飾区環境部環境課

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL(3695)1111 内線3522~3

直通電話 (5654)8237

fax (5698)1538

「水辺のふるさとかつしか」の内容について、お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。次号にて訂正いたします。